

令和2年度 第1回学校と福祉機関の連携に係る検討会議 議事録【要約版】

日 時：令和2年7月31日

15：00～17：00

場 所：兵庫県民会館 901号室

参加者：18名

協議事項1 新型コロナウイルス感染症による臨時休業中における児童生徒の生活について

- 学校では臨時休業中、郵送による課題や動画配信を行うとともに、家庭連絡によって健康状態の把握や教育相談を行った。
- オンライン授業については、まだ環境や内容が整っておらず、第2波に向けて、その効果についてもこれからの課題となる。
- 教員は、誰が、いつ、どこの事業所を利用しているのか、ほぼ把握できておらず、事業所と学校とが連携しておれば、把握することができたかもしれない。

- 臨時休業中の児童生徒の居場所に困ったという状況もあった。
- 学校からの課題プリント等の量が多く、子どもの実態にも合っていなかったことや、学習していない単元への対応等に困った。

- 事業所での感染防止を徹底するために、遊具類から机、椅子、壁、ドア、ドアノブという細かなところまで、毎日消毒をしながら子どもたちを受け入れた。
- マスクや手洗いの苦手な子どもたちが多いことや部屋の換気や場所の工夫等を行うが、一つ一つの活動に時間や手間がかかり、スタッフに負担がかかった。

協議事項2 学校と放課後等デイサービス事業所の連携マニュアル(案)について

①連絡ツール(案)について

- 通常の学級に在籍する子どもの活用も想定されるので、何を伝えるのか、書く内容のポイントを絞り、チェック欄等の活用も行う。
- 子どもによっては、必要な要素を付加する等、様式を加工すればよい。ただ、情報が増えすぎないように配慮は必要となる。
- 試行的に実施しながら、家庭と学校と事業所で話をし、書く内容について決めていく。

②緊急事態対応(案)について

- 緊急事態宣言下の際、「学校がいつから始まるのか」等の連絡を事業所にするために、保護者への一斉メールのように、その学校が利用している事業所へ一斉に配信する方法もある。ただ、市町規模や事業所数等によって様々な対応となる。